

1か月が経過しました

今年度は3人が入級し、それぞれ進級した思いを胸にスタートしました。シャイニングクラスを終えてから学校へ登校して頑張っている生徒もいます。いずれの形であれ、「自分で決めて自分で動き出す」積み上げを大切にして前に進んでほしいと願っております。

そのために、シャイニングクラスでは「今の自分ができること」を大切にし、通級生一人ひとりが「自分は自分」（自分らしさ）を確かめながら、一步踏み出す強さ・自信を取り戻していけるよう学校及び保護者と連携しながら支援してまいります。

がんばりママの奮戦記 より ～振り返れば十一箇条～

5年ほど前の事例です。

子（中学生）の不登校に悩むある母親が、ある研修会において現在進行形で述べられた実践談です。同じ悩みを抱える保護者や教育関係者にとって参考になりそうなので、簡潔に紹介させていただきます。

(1) 「本人に決めさせる」を最重視する。

→そのため、グッとこらえてとことん待つ。

(2) 変化をとらえたら、ものすごく褒める。

(3) 家での話し合いは、お父さんにも交ざってもらう。

(4) 足しげく学校（担任、主任）に通う。（行き交う友だちに手を振る作戦も）

(5) PTAの役員は避けずに引き受ける。（親のがんばる姿を子に見せる。）

(6) 家事分担への参加を“賃金制”で動機づけ。→ 対話の材料、“家族”意識

(7) 愚痴はこぼしてもよい。ただし、一つは良い話題を含めるべし。

(8) 子の好きなことを親として勉強する。→ 興味や関心への理解を深める。

(9) 子が抱く「夢」を尊重し、応援していることを伝える。

(10) 落ち込んでいるときは、自然に触れさせて外の空気を吸わせる。

→場所を変えれば気分が一新。

(11) つらいこともあるが、努めて楽天的にふるまう。



家庭教育ノート ～小・中学生の保護者向け～ （文科省／山形県版（平15）より）

大切なことが平易に述べられているので、受け入れやすく感じます。

発行から十年余りが経過しましたが、いつも座右に置きたいほどの「名著」です。

全6章を、月に1章ずつの分割で掲載させていただきます。

1章 家庭とは？

子どもが家で身につけたことは、生涯、ずっと生き続ける。

- (1) 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思えますか？
- (2) 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることも……。
- (3) 話せばわかるとは限らない。話さなければもっとわからない。
- (4) 子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。
- (5) いっしょに食事をするって、ほんとはすごく大切なのかも。
- (6) 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。
- (7) 子どもが相談したくなる親は、どこが違うんだろう。



体験活動から

体験活動では、具体的活動をとおして体験の幅を広げることにより、①知識や技能を発展させてものごとへの関心を高めたり、②新たな気づきで自分の考えを深めたり、③相談室教員以外の方々とコミュニケーションを積み上げたりすること等を目的にしています。

サトイモ等農作物の作付け体験 (5/19)



畝をならす



マルチシートを掛ける



俳句用ハンコを作る

こいのぼり そよ風吹いて 気持ちよく
しずくたち 笑って落ちて 草ぬらす
陽を受けて のびるたけのこ ぐんぐんと

生徒の作品

“見よう見まね～曲がりなりに” / やる気高めるパッケージ

こどもの日常には、遊び（の延長）としてのものづくり活動が多くあります。じつは、そこにはすばらしいメカニズムが内在します。例えば、何かを**見よう見まね**の独力で作り進み、**曲がりなりに**完成させて納得（達成感）することはよくあります。その作品をまわりの大人からほめられ（承認）れば、達成感は絶大です。さらに、その物が家族の生活に使われるもので、喜ばれでもしたら効果は決定的です（**自己有用感**）。意欲向上必至。シャイニングクラス（特に体験活動）ではこのプロセスを重視しています。各家庭においても仕掛けられることが少なからずありそうです。

～ 授業の様子から ～



4・5月の活動 シャイニングクラス在籍 3名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語
- 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育
- 木曜日 体験活動（月2回）

- ◇体験活動① 4月21日（木）**陣峰市民の森散策**
- 体験活動② 5月12日（木）**城址散策&俳句づくり**
- 体験活動③ 5月19日（木）**野菜苗の定植**

◇年度始めの学校訪問【市内全小中学校対象】

5月2日（月）までに全11校を訪問。
ご多忙の中ありがとうございました。

◇SC連絡会

明倫中スクールカウンセラー連絡会に参加（5/10）

◇「気楽に話し合う会」

4月22日（金）、4名の参加を得て、互いに話を聞き合う充実した話し合いになりました。

教育相談連絡先

○ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266

○適応指導教室（シャイニングクラス）
TEL 22-2111
（内線 445、448）

林、小野、荒木が担当です。